

# 連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1338 2025/06/12 (THU)

発行 広島高校連絡会事務局

Email [renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp](mailto:renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp)

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

## 生徒に寄りそったスクールシンガーをめざして

ときどき、生徒の間で起きたことやこういう人になってほしいなと思いつつ、曲をつくっています。

### 青春ロックンロール

作詞・作曲 望月照巳

1 俺たちの気分は ルンルンさ  
温かい 春の中で  
俺たちの気分は ルンルンさ  
楽しくやっぺいこう  
おもろない時にゃ 当たり散らしたり  
たまにゃ けんかする時あるけれど  
だけど俺たち 友達さ  
仲良くやっぺいこう!

2 俺たちの気分は ルンルンさ  
温かい 春の中で  
俺たちの気分は ルンルンさ  
楽しくやっぺいこう  
何かあった時にゃ ひとりで悩まずに  
みんなで ええ知恵を出していこう  
それが本当の 友達さ  
力を合わせていこう!

この曲は、約45年前に、当時の電機高校(現国際学院高校)で非常勤講師をしていた時につくった歌です。一番大変なクラスを持たされて、立ち歩く生徒、弁当を食べる生徒、漫画を読む生徒、話をしている生徒、そして、寝ている生徒。静かに聞いてくれている生徒は、前列の数人だけです。力で押さえつけるほどの生徒指導力もなく、毎日悩んでいた時につくった曲です。

### 我が人生への応援歌

作詞・作曲 望月照巳

あきらめかけた人生に もう一度夢をかけてみないか  
世渡り上手な人もいるけど 自分の選んだ道を行こう  
何をやってもうまくいかず 誰にも相談できなくて  
ひとりで酒を飲みすぎてしまうことも あるけれど  
たった一度の人生じゃないか もう一度やってみないか  
あんまり自信はないけれど もう一度やってみよう  
(間奏)  
何をやってもうまくいかず 誰にも相談できないって言うけれど  
よく見ると心配してくれている人も いるじゃないか  
たった一度の人生じゃないか もう一度やってみないか  
あんまり自信はないけれど もう一度やってみよう

これまで15曲くらいつくりましたが、上の曲は、唯一自分のためにつくった歌です。約25年前、廿日市西高校で2学年主任をしていた時、その学年団は何かあると「それは学年主任にやらせばいいじゃないか」というような雰囲気があって、一人で何もかも引き受けて、2学期の終わりにどうにもならなくなり、冬休みのある日、家でやけ酒を飲みながら1時間でつくった歌です。(望月 照巳)

【お知らせ】 今週の「六文銭」は、裏面に掲載しました。

## 六文銭

▼今、勤めている「たんぼぼ保育園」は、五〇年前（おお、半世紀前だ）に、長女が生まれて、「ひえく」出産費用つて、随分高額なんだ。そうか、「病氣じゃないから、保険適用の範囲外なんだ」。▼等という世間知らずな青年が、公立保育所の保育時間が、午後四時までで、「それでは働き続けることが出来ないじゃないですか」と質問した時、当時の公立保育園を組織する社会党総評系の労組幹部が、言い放った発言は、今も忘れない。

「午後四時までの開園時間は、労働組合として勝ち取ったもので譲れない。それで、働き続けられないというのなら、貴方（私）の労働条件を改善するべきだ」というものだった▼そんな無茶な話はない、と不満を抱きながら、二重保育にかけずり回りました。それなら自分たちで保育園を作ろうと、共同保育園「たんぼぼ」を立ち上げて、資金作りに七転八倒しつつ、多くの援助を得て、その後福山市の「建設費八割補助」制度で認可園へと、発展した保育園です。そんな歴史を持つ保育園の理事会に対して、所謂民主的労働組合を標榜する「全国福祉保育労働組合」幹部の指導は、五〇年前の社会党・総評の路線そのもので、理事会的論というべきものです。保育園の職員と理事の間には不信感を持ち込み、自分たちの要求を理事者にぶつつけることが、労働運動だと指導するのです▼そうではなくて、よりよい保育内容を保護者とも力を合わせて作り上げ、その信頼を基礎に、要求を実現してゆく▼根本の問題は、国政の（また、それに盲目的に従う県や市の行政）在り方であり、それを変えるべきだ。その闘いが、今まさに目前に控えている、と声を大にして訴え続けます。

2025/06/12